



本校の授業改善に向けた視点				
教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	評価の工夫	校内における研究や研修の工夫	保護者や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間指導計画・評価計画を見直し、教育課程を確実に実施する。</li> <li>○青葉学級の理解啓発授業を全学級で実施し、理解を深めるとともに特別支援教育を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1時間の授業の中に、意図的に言語活動の時間を設けて、話す・聞く力を育む。</li> <li>○オリンピックパラリンピック教育を、全体計画や年間指導計画を基に進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の記録であるノートをしっかり書かせ、助言や指導・評価を行う。</li> <li>○1単位時間のねらいを明確にし、まとめの段階でねらいに迫れたかを自己評価させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年7回の校内研究授業や講師の師範授業・講演会を行う。</li> <li>○OJTの充実を通して授業力の向上を図り、学力の向上につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭との連携を強くし、基本的な生活習慣の充実を図る。</li> <li>○2学期制を生かして、7月12月の個人面談で保護者と児童の状況を共有し、課題を具体的に示す。</li> </ul>

